

九大ポータル My.Kyushu-U と Google との連携

伊東, 栄典
九州大学情報基盤センター : 准教授 : 情報学

<https://hdl.handle.net/2324/15944>

出版情報 : 情報基盤センター広報 学内共同利用版. 6 (2/3), pp.51-56, 2007. 九州大学情報基盤センター
バージョン :
権利関係 :



九大ポータル My.Kyushu-U と Google との連携

伊東 栄典¹

本稿では、情報基盤センター（以下、当センターと表記）で試作している九大ポータル「My.Kyushu-U [1, 2]」の提供する部局サイトのお知らせ RSS と、検索エンジン Google との連携について紹介します。RSS と Google のパーソナライズ機能をご存知の場合、下記の表で示す「部局サイトの RSS 一覧」で提供される各部局サイトの RSS を利用することで、学内情報資源が活用可能です。RSS は RDF Site Summary の略で、サイト概要記述の形式です。

My.Kyushu-U	http://my.kyushu-u.ac.jp/	図 1 左
部局サイトの RSS 一覧	http://my.kyushu-u.ac.jp/rss/	図 1 右

また、ご意見などがございましたら、下記宛先までメールをお送りください。

コメント送付先	qportal@cypher.cc.kyushu-u.ac.jp
---------	--



図 1 My.Kyushu-U

1. はじめに

Web 上に様々な情報サイトが乱立するにつれ、サイトの更新を知ることが困難になっています。九州大学のような総合大学では、学部・学府・施設・サークルなどが Web サイトを作成・公開しています。九州大学の公式 Web サイトで提供されている、学部・大学院・研究所等の一覧（<http://www.kyushu-u.ac.jp/profile/faculty.html>）には、学内にある様々な部局やセンター等が提示されており、2007 年 2 月 12 日現在では 91 個のリンクが存在しています。

近年、複数サイトの閲覧を助けるために、お知らせやニュース記事などの見出し（ヘッドライン）の RSS 形式での提供が行われるようになりました。新聞や情報提供サイトでは、RSS で記

¹ 九州大学情報基盤センター研究部 itou@cc.kyushu-u.ac.jp

事のヘッドラインを提供することが普通になっています。

本センターが提供する My.Kyushu-U では、学内のお知らせを自動的に切り出し、RSS 形式で更新・保存しています[1]。この自動的に生成された RSS データは、部局サイトの RSS 一覧サイト(<http://my.kyushu-u.ac.jp/rss/>)から利用可能です[1,2]。以前の広報記事[1]でも示したように、RSS リーダなどから上記の RSS の利用が可能です。

本稿では、My.Kyushu-U が提供する RSS ファイルについて、検索エンジン Google での利用を例として、活用法を紹介します。なお、本稿では、Windows XP 上で動作する Internet Explorer 7 を例に操作を説明しています。FireFox や Opera など他の Web ブラウザでも同等の操作が可能です。

2. Google パーソナライズドホーム

検索エンジン Google では、個人に特化するサービスを開始しています。この個人向けに内容を特化したサービスは、「パーソナライズドホーム」(personalized home)と呼ばれています。図 2 の右に、パーソナライズドホームを示します。

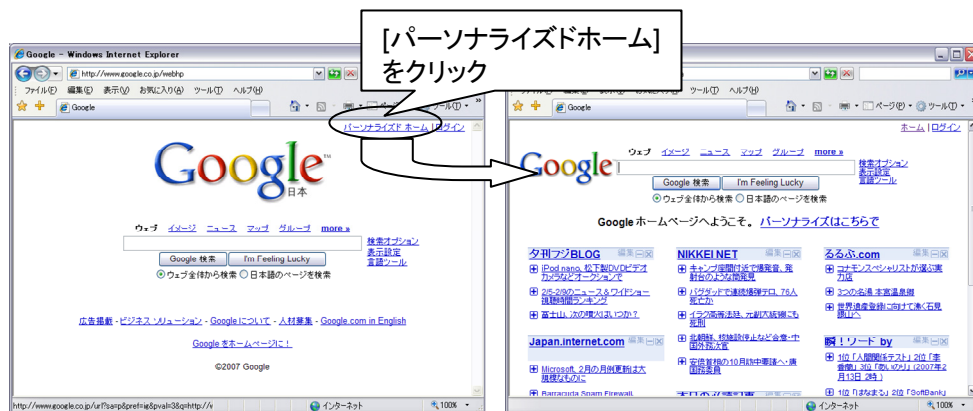


図 2 Google パーソナライズドホーム

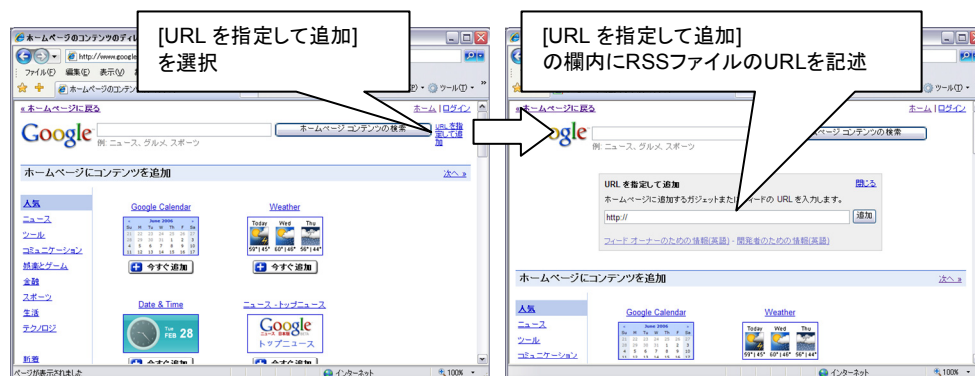
このパーソナライズドホームは、利用者により設定変更が可能です。図 2 右の[パーソナライズはこちらで]のリンクをクリックすると、図 3 のような画面になります。



図 3 コンテンツの追加

図 3 左側の画面でコンテンツの指定が可能です。利用者が閲覧したいサイトを指定すると、そ

Google が用意したコンテンツ以外に、URL を指定することでの RSS コンテンツを追加可能です。図 5 左の画面で右上にある「URL を指定して追加」をクリックします。すると、図 5 右側の画面になります。この画面で、中央の欄に URL を入力すると、コンテンツの追加ができます。



以上の説明では、Google にログインしない状況で利用する場合で記述しています。この場合、設定内容は閲覧内容を一時的に保存する Cookie と呼ばれる機能を使ってブラウザ内に保存されています。そのため、一台の計算機で、かつ同一ブラウザのみを利用する場合は、以前設定した内容が次回にも反映されます。また Cookie を削除することで、設定内容を削除することが可能です。なお、設定内容の長期的な保存や、複数の計算機間での共有には、Google へのログインが必要になります。

ここでは、My.Kyushu-U が提供する RSS を Google に追加する方法について述べます。まず、図 6 に示す、My.Kyushu-U が提供する各部局の RSS 集ページを表示します。RSS 集ページの URL は「<http://my.kyushu-u.ac.jp/rss/>」です。

RSS 一覧ページから、常時閲覧したいサイトを選びます。例として、九州大学のトップページを常時閲覧するものとします。九州大学トップページは RSS 一覧ページ（図 6）では左上の一番目に掲載されています。図 6 の右側で示すように、九州大学トップページの RSS へのリンクがアイコンとして存在しています。このアイコンが指すリンク先 URL が RSS ファイルの存在する場所になります。例えば、九州大学トップページからお知らせ部分を自動抽出して作成した RSS の URL は「<http://my.kyushu-u.ac.jp/rss/rss/www.rss>」です。



図 6 RSS 一覧と URL の取得

図 6 の操作で取得した RSS への URL を、Google パーソナライズページへ貼り付けます。貼り付け操作の例を図 7 に示します。

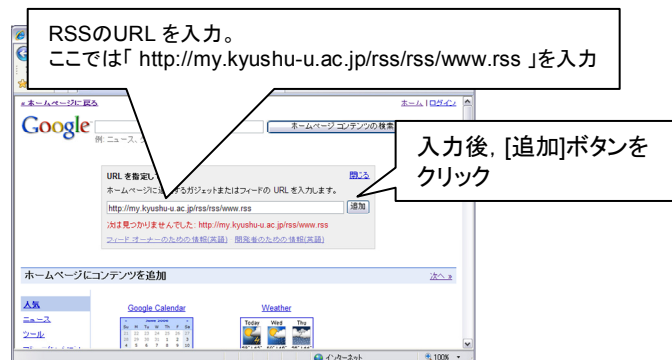


図 7 RSS がある URL の指定

以上の操作で、My.Kyushu-U が提供する九州大学トップページの RSS を、Google パーソナライズドホームに設定することができました。図 8 の右側に、九州大学トップページの RSS を貼り付けた、Google パーソナライズドホームの画面を示します。図 8 の左側には多くの学内サイトを貼り付けたページを表示しています。



図 8 九州大学内の RSS を貼り付けた Google パーソナライズドホーム

4. 今後の課題

現状では、Google パーソナライズドホームに、My.Kyushu-U が提供する学内サイトの RSS を貼り付けると、お知らせの掲示順が元のサイトでの掲示順と異なります。現在の My.Kyushu-U では、各サイトの HTML から機械的にお知らせ抽出と RSS 形式への変換を行っています。各サイトでは、サイト毎に独自の様式でお知らせを提示しているため、各お知らせ項目の発行時間を正確に取得することができません。そのため変換後の RSS でも、お知らせの発行時刻を記述しておらず、従って Google パーソナライズドホームでもお知らせが発行時刻順に表示されません。発行時刻は重要な情報ですので、お知らせの発行時刻を取得できるよう、My.Kyushu-U の機能を充実させていく予定です。

また、閲覧制限の問題もあります。RSS ではお知らせの見出しのみが提示されているため、学外からの閲覧も許しています。しかし、お知らせの内容が学外からも閲覧可能かは各サイト管理者の設定に依存します。そのため学外のネットワークに接続している場合、見出しには提示されているものの、内容は閲覧できないお知らせが存在する可能性があります。

時刻と閲覧制限の問題は、お知らせ情報の提供元と、見出し RSS の提供元が異なるために発生しています。現在のように My.Kyushu-U 側で RSS を自動作成するのではなく、各サイト側で RSS が提供されるようになれば、発行時刻の問題も閲覧制限の問題もなくなります。今後どの部局サイトでも、お知らせの掲示とともに RSS を提供される事を期待します。

5. おわりに

本稿では、当センターで試作している九大ポータル「My.Kyushu-U」の提供する部局サイトのお知らせ RSS と、検索エンジン Google との連携について紹介しました。Web 検索は社会の重要な情報インフラに成長しています。情報提供と検索を組み合わせることで、新たな機能の実現が可能であると思います。

米国では行政サイトの統合検索に Google を援用しています (http://www.google.com/ig/usgov)。そのサイトを図 9 に示し



図 9 Google U.S. Government Search

ます。同様のことを学内でも実現できると考え、本稿の内容を紹介しました。

また、近年では、複数の Web 情報サービスを連携して新たなサービスを構築する Mashup が盛んになりつつあります。学内の情報サービスも連携することで、新たなサービス提供が可能になるのではないかと期待しています。

参考文献

- [1] 伊東栄典, 池田嗣穂, 亀岡謙一, 高木早智子: “九大ポータル My.Kyushu-U の試作”, 九州大学情報基盤センター「広報 学内共同利用版」, Vol.6, No.1, pp.1--6, 2006.
- [2] 池田嗣穂, 亀岡謙一, 伊東栄典: “RSS を利用した九大ポータルサイトの構築”, 第 28 回 全国共同利用情報基盤センター・連合発表会 研究開発論文集 (ISSN: 0910-8769), pp.95--100, Nov., 2006.